

第1回 牧川小学校 学校運営協議会

令和7年5月28日(水)
13:30~15:00

1 委員辞令・委嘱状交付

2 会長・副会長の選出

3 会長あいさつ

自分が小学生だった頃、テレビが普及し始め、夢中になった。現代の子どもたちは、タブレットやゲームに夢中になっている。時代は変化しているが、映像を通して物事を見ているという意味では、変わっていない部分もある。一方で、今年も「あおこさ運動」など、人間力によって、児童らに寄与したい。

4 運営協議会委員自己紹介

5 協議事項

(1) 学校運営基本方針について(校長)

校訓「考える子 親切な子 元気な子」をもとに、今年度の目指す児童像を全職員で話し合って決めた。その根底には、牧川っ子や地域の持ち味を生かした基本理念「どの子ども大切に、どの人も大切に」がある。(学校要覧参照)

～ 授業参観 ～

(2) 令和7年度教育活動について(教務)

- よく考え、自らを高めようと粘り強く学ぶ
(児童会スローガン、校外学習、かかわりタイム)
- 相手を思いやり心豊かに行動する(1年生を迎える会、縦割り活動)
- 心身共に健康で最後まで努力する(避難訓練、交通安全教室)
- 課題解決に粘り強く取り組み、自分の考えを分かりやすく表現する(現職の取組)

(3) 施設・設備等について(事務職員)

- 昨年度の整備内容と今年度の整備予定について報告。
- 体育館の空調設備の必要性について言及。日常的に地域にも体育館開放をしていたり災害時の避難所になっていることから、地域としても必要である。

(4) 学校運営協議会と地域学校協働活動について(教頭)

地域の宝である子どもたちがどのように育てほしいか、どんな学校や地域にしていきたいか、目標を共有し、実現のために必要なことを話し合うのが学校運営協議会。

その目的のもとに行う地域学校協働活動(「あおこさ運動」等)の協力を今年度もお願いしたい。

防災については、地域にとっても学校にとっても重要な課題→防災倉庫の確認

(5) 教育活動についての質疑・その他

体育館の空調設備については、虫送りなどの地域行事でも必要となってくる。多方面からの要望が大切となる。ぜひ声を上げていきたい。

(6) 意見交流

「牧川小学校区をあいさつでつながる地域にしたい(あおこさ運動)」

昨年度の学校運営協議会で、「地域で具体的に何か活動できないか」と話し合い、地域ぐるみで元気なあいさつを交わそうと、「あおこさ運動」をはじめた。今年度はさらに参加者を増やすような手立てを工夫して取り組みたい。

- ・ 児童は、大きな声であいさつができるようになってきている。
- ・ 地域の方へ、さらに目を引く回覧板で周知する：児童に協力を呼びかけ、ポスターを作成する。
- ・ 地域の様々な団体に参加を呼びかける。
- ・ 運動会前に「あおこさ運動」ののぼりを立てて活動を盛り上げる。
(のぼりの組み立て取り付けは10月15日)
- ・ 児童会の生活広報委員会も児童の側で取組を工夫する。
- ・ 「あいさつの声が小さかった子が大きな声でできるようになった」などの友達の成長をたたえ合うような相互評価ができるとうい。

6 校長あいさつ

本日のご意見をもとに、今年度の学校運営をよりよいものにしていきたい。学校だけでは難しいことも、保護者や地域の方々からの支援があれば成し得る。牧川っ子たちが健やかに成長し、よりよい学校となるためにお力添えをお願いし、何かお気づきのことがあればご指導賜りたい。

7 今後の予定

- ・ 第2回 令和7年10月22日(水)
- ・ 第3回 令和8年2月25日(水)

※ 会の終了後、防災倉庫の中を確認し、稲沢市役所防災安全課の説明を受けた。

- ・ 南倉庫：震度5強で、倉庫側面のキーボックスが解除される。
避難所開設のための説明書・鍵・パーテーション・飲料水・食料等
体育館に200人避難住民収容を想定（保管されている飲料水や物品が少ないことを指摘したところ、「今後、数量を調整する」との回答を得た）
- ・ 北倉庫：発電機・毛布・簡易トイレ等
- ・ 体育館：災害優先電話・通信ボックス
- ・ 祖父江中学校で防災訓練 9月28日